

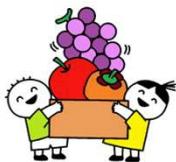
令和5年度 第4号



PTAだより



横浜市立川上小学校
PTA会長 植松 正美
役員 員
令和5年10月2日発行



今年の夏は暑かったですね。10月になり、朝夕はだんだんと涼しい風も感じるようになりました。それと同時に体調を崩す方も増えています。外から帰ったら、うがい・手洗いを丁寧に行い、充実した豊かな学びに向けて、心も体も準備していきましょう。

お掃除ボランティアへのご協力ありがとうございました！

8月28日（月）お掃除ボランティアを開催しました。
夏休み明け初日でしたが、保護者12名、キッズスタッフ2名の計14名が参加してくださいました。

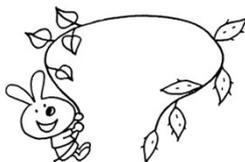


特別教室の掃除がなかなか行き届かないということで、当日は、4つのグループに分かれ、理科室・家庭科室・図工室・少人数教室・図書室・パソコンルーム・音楽室・資料室のエアコン、扇風機、換気扇、体育館のキャットウォークなどを、丁寧にお掃除しました。

暑さのなかで汗をかきながらの作業でしたが、もくもくと、時におしゃべりしながら掃除をしていきました。



お掃除の後は、この日から始まった夏休みの作品展を鑑賞。有意義な時間を過ごせました。次回は冬開催の予定です。男性の参加ももちろんOK！詳細が決まり次第お知らせいたします。



旗振り講習会

5月10日、磯子公会堂ホールで「旗振り誘導講習」が開催されました。横浜市に向向されている警察官の方による座学で、学援隊2名（森さん、津山さん）校外生活委員1名（口井さん）が参加してくださいました。感想をいただいておりますので、紹介させていただきます。

学援隊 森さん

1日の始まりに横断歩道に立ってから3年が過ぎています。毎朝、元気に登校される児童と「おはよう!」と挨拶を笑顔で交わす事が、とても楽しみです。

これまでキチっとした講習も受けずにきました。ほかの学援隊の方々も同様で、正しい安全確認の方法や、マニュアルが必要では、との意見もありました。

そんな中、はじめて「はたふり誘導講習」に参加して参りました。講習は、講師の方と参加者の双方向で「はたふり」方法や安全の確認手順が示され、これまで気が付かなかった点を明確にすることができました。

今後も多くの方に、この講習を受講して安全で安心な登下校となるように活動を広げていきたいと思ひます。



学援隊 津山さん

孫が小学校に入学した7年前、毎朝、登校班の集合場所まで送っていたところ、息子から「過保護すぎるからやめるように」言われ、毎朝の楽しみが無くなってしまいました。

そんな時に、知人から学援隊のお話をいただき、これで毎日孫の通学姿を見送ることができると思い、「喜んで」と即答でお引き受けしました。しかし、経験の無いことなので、どの様にしたら良いかもわからず、ただ、子供たちが安全に通学できることだけを考えて続けてきました。

6年目が過ぎた頃、初めて講習会を受ける機会をいただきました。気を付ける事、やってはいけない事など、これまであまり意識していなかった色々な事を教わり、大変有意義な講習会でした。

子供たちの「おはようございます」と言う元気な声を聞くと今日も一日頑張ろう！とこちらが元気をもらっています。

これからも自分の体調を考えながら、もう少しお手伝いを続けて行けたらと思っています。



校外生活委員会 口井さん

川上小学校では、地域ボランティアの方々が学援隊として毎日の登下校中の子どもたちを見守ってくださっています。そのため、保護者による登下校中の旗振り見守り当番はありませんが、講習会では旗振りの方法はもちろんのこと、横浜市内の交通事故の中でも特に小学生に焦点を当てたデータやお話などがありましたので、特に印象に残ったものを1点ご紹介いたします。

これは旗振り時に限らないのですが、子ども達が道路を横断する際に、大人が道路まで出ることです。大変良く見る光景だそうで、実際私もやっていました。

まずは、大人本人が危ない。次に、子どもも道路まで出てよいと認識してしまう。そして一番の問題は、大人に守られていると安心し、子ども自身の危険察知能力が育たないこと。

大人が、「気をつけてね」「よく左右を見てね」などの声かけをして、子ども自身に判断させて渡らせることによって、危険察知能力が養われるとのことでした。

横浜市が推奨する旗振り方法の実演もあり、大変興味深く、有意義なものでした。そして改めて、毎日子供たちの安全を見守ってくださる学援隊の方々に感謝の気持ちをお伝えしたいと感じました。学援隊の方々に会った際は、「いつもありがとうございます」の言葉を添えてくださると嬉しく思います。

子どもたちの安全を守るために

夏休みに比べると、日が落ちるのが早くなってきました。ご家庭でも改めて帰宅時間を確認したり、車のドライバーから見えやすい色の服（白や黄色）を着たり、気を配って過ごしていきましょう。

学援隊の皆さんは、雨の日も風の日も、子どもたちを見守ってくださっています。どなたがどこに立っているかのマップは職員室前にあります。また、7月に配付した「はくせん第110号」にも掲載されているので、ぜひご確認ください。

今後とも、見守り活動をよろしくお願いいたします。



日本PTA全国研究大会 広島大会

8月25日（金）～26日（土）第71回 日本PTA全国研究大会 広島大会（日P広島大会）に参加しました。日P広島大会1日目は8種類の分科会、2日目は全大会として構成され、私の参加した第3分科会では「学校教育と地域の連携をどう進めていくか」について、子どもの成長と地域のつながりに焦点を当て学びましたのでご報告します。

基調講演では、広島修道大学の山川先生が「子供だけではなく、教育者、保護者、地域（住民）がともに育ち続けるためには『シビックプライド（教育）』が重要です。」とお話してくださいました。シビックプライドとは、「地域への誇りと愛着」を表す言葉だそうです。生まれた場所、住んでいる場所としての「地域」のみならず、モノや場所、サービスを中心としたつながりもシビックプライドがつかないネットワークといえるそうです。山川先生は「地域と連携・協働して学校教育を実現していくことは、そこに関わるすべての人たちの幸せや暮らしの質の向上、持続可能な社会につながっていく可能性があります。」とお話してくださいました。

しかし、はじめは正直ピンときませんでした。なぜならば、多くの学校で教職員の働き方改革や共働き家庭の増加に伴って、学校に関わる役割（PTAがその代表だと思えます）に十分な人員がないことから、地域の皆さんの力を一方的にお借りして学校教育の現場を成り立たせているという現状があるからです。川上小学校も通学路の見守りをはじめ、授業や課外活動のサポート役として地域の皆さんがPTCAとして活動に参画してくださっています。PTCA活動はボランティア活動ですから、強制力が無い代わりに目に見える報酬もありません。参加されている方はご自身の子どもや孫が小学校に通っている方ばかりでもありません。それなのに、暑い日も、寒い日も、雨の日も、雪の日も、学校のある日は子どもたちの登下校を見守る地域の皆さんは、いったい何が原動力で力を貸してくれるのか、そして我々は何か恩返しができるのだろうか、といつも考えていたからです。

基調講演の後、実践発表者として広島県府中市コミュニティスクール*1連絡協議会の立石会長のご講演があり、その中の立石さんの言葉によって「シビックプライド～コミュニティの学校教育への参画の必要性～地域の活性～持続可能な社会～ウェルビーイング」というキーワードが頭の中でつながり、山川先生の「地域とともにある学校—シビックプライドによる架橋—」というご講演タイトルが一気に腹落ちしました。立石さんは現在会社の会長さんで、14歳の時にはすでに会社を作りたいとお考えになったそうです。幼少期、ご自身の周りにいた大人の中に「あの人になりたい！（未来のロールモデル）」と思えた方がいらしたからだそうです。ご自身の体験から、子どもはたくさんの大人との交流が大切だとおっしゃいます。学校と地域が一体になって地域の子どもたちを育てていく。

その取り組みの中で大人も子どもも地域の魅力を知り、地域を誇りに思う（＝シビックプライド）ようになり、最終的には地域の活性化につながる。これが大事だとお話しされました。これこそ私が疑問に思っていた、私の地域で数々の皆さんをPTCA活動へと駆り立てる原動力ではないか、と感じました。「地域で子どもを育てるのはボランティア活動じゃない、未来への投資だと思っている」という立石さんの言葉をお聞きした時、保護者、教職員、地域の皆さんも同じ気持ちでPTCA活動に参加しているのかもしれない、と改めて感じました。

私自身、子どもの学び場は学校がメインであり、教育を行うのは教職員だと思っていました。ところが、子どもたちと地域の関りが強い地域では子どもたちの学力が高い傾向にある*2ことを知ってから、コミュニティスクールとしての学校のあり方が重要だと思うようになりました。私も今年から学校運営協議会に参加させていただいています。校長先生を中心に教職員、教育委員会、地域、保護者が一体となって子供たちの学びのコンテンツを考え、時には指導者として教育活動に参画します。コミュニティスクールのように、教職員や保護者だけでなく、身近にロールモデルや相談しやすい大人（分科会ではナナメのつながり*3と表現されていました）がいる環境は、子どもたちの可能性を伸ばすとともにシビックプライドを醸成し、最終的には地域の活性化につながるのだと思いました。とはいえ、もう少し早い形での地域への恩返し（例えば、子どもたちとともに地域清掃活動や老人ホームでの奉仕活動をするなど）を実現できないだろうか、とイメージしながら分科会を振り返りました。

今回日P広島大会に参加することにより得られた気づきと学びを、川上小学校でのPTCA活動に役立てたいと思っています。

*1 学校運営協議会を設置する学校のこと。保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子供たちの成長を支えていくための仕組み

*2 【日本】秋田県の小・中学生はなぜ学力が高いのか ー秋田県の子どもの生活習慣と就学前教育からの思案ー：瀬尾 知子 (<https://www.blog.crn.or.jp/lab/O1/144.html>)

*3 子どもにとって「ナナメの関係」はどのような役割を果たしているのか ー生徒指導・進路指導において児童生徒の多面性を受容する存在としてー：澤田英三
([file:///C:/Users/mummi/Downloads/24323772024003%20\(2\).pdf](file:///C:/Users/mummi/Downloads/24323772024003%20(2).pdf))

放課後学び場事業

土曜日の午前中、学校の図書室でお友達と一緒に勉強しませんか？
一日遊んでしまいがちな土曜日ですが、少しでも勉強する習慣がつくと数年後の学力が大きく変わると思います。是非ご参加ください！ボランティアさんも募集中です！

- 内 容：宿題等、持参した課題に取り組む自習形式
- 学 年：川上小学校1年生～6年生
- 場 所：川上小学校図書室
- 日 時：10/28、11/18・25、12/9・16、1/20・27、2/17
【全て土曜日 午前10：00～11：30】（事情により変更・中止も有り）



問合せ先：fuvy5366@machikomi.jp（担当：安藤さん）

読み聞かせボランティア・ひまわり



読み聞かせボランティア・ひまわりです。月に2回・金曜日（8時25分～40分）に読み聞かせを行っています。各学年4～10人ほどのメンバーが登録していて、自分の都合がよい日にシフトに入ります。年に1度のシフトでも大丈夫！読む本は、図書室にある本でもご自宅にある本でも、なんでもOK！他の学年の保護者と話したり、図書の先生と話したり、ホッとするひと時です。

図書ボランティアでは、図書室の前の飾りを作ったり、本の修繕をしています。季節ごとに素敵な作品が登場するので、学校にお越しの際は、ぜひ図書室まで足を運んでみてくださいね！



そんなひまわりでは、日々メンバーを募集しています。読み聞かせ、図書ボランティア、両方でもどちらか片方だけでも構いません。一度見学に来てみませんか？お待ちしております。

家庭科ボランティア



6年生のミシン授業の「家庭科ボランティア」へ参加してきました。1クラスに3～4人が補助として入ります。この日は、ナップザック・トートバックの仕上げの授業でした。最初は遠慮がちな子どもたちでしたが、少しずつ活発になっていき、楽しい雰囲気の中であっという間の2時間を過ごすことが出来ました。

川上小学校には、たくさんのボランティア活動があります。お声かけは不定期ですが、ちょっとした空き時間、ぜひ活動してみたいはかがでしょうか？

○登録用メールアドレス

施設名：川上小学校ボランティア

アプリトップの「グループを追加する」より手続きをお願いします。

アプリインストール



もしくは、各ストアから「マチコミ」で検索



ボランティアのお知らせはマチコミで届きます。

こちらのアドレスを、マチコミ・ホーム画面の「グループ追加」から追加してください！



グループ名	登録用メールアドレス	登録期限	パスワード
図書ボランティア	fuvy7866@machicomi.jp [エフユーブイワイ7866]	設定なし	設定なし
ベルマーク集計	fuvy9854@machicomi.jp [エフユーブイワイ9854]	設定なし	設定なし
運動会受付	fuvy4346@machicomi.jp [エフユーブイワイ4346]	設定なし	設定なし
登下校見守り	fuvy7258@machicomi.jp [エフユーブイワイ7258]	設定なし	設定なし
花壇・畑	fuvy7888@machicomi.jp [エフユーブイワイ7888]	設定なし	設定なし
放課後学び場事業	fuvy5366@machicomi.jp [エフユーブイワイ5366]	設定なし	設定なし
その他・1日ボラ随時	fuvy2257@machicomi.jp [エフユーブイワイ2257]	設定なし	設定なし

会務報告 (7月21日~10月2日)

◇委員会共通

9月 7日 (木) 第5回 実行委員会

◇役員会

7月21日 (金) 第1回川上小学校運営協議会 出席
7月29日 (土) AKIBA夏フェス2023 出席
8月 5日 (土) 名瀬第二町内会盆踊り 出席
8月25日 (金) 日本PTA全国協議会広島大会 分科会出席
8月26日 (土) 日本PTA全国協議会広島大会 全体会出席
8月28日 (日) お掃除ボランティア開催
9月 1日 (金) 給食試食会打ち合わせ
9月 8日 (金) 戸塚区PTA連絡協議会 会長会 出席
9月11日 (月) 横浜市PTA連絡協議会 2023年度臨時総会 WEB回答提出
9月11日 (月) PTAだより 役職紹介臨時号 配付
9月15日 (金) 三行詩コンクール応募



◇校外生活委員会

8月28日 (月) ~30日 (水) 登校班パトロール
9月13日 (水) 第5回 常任委員会

◇学年委員会

7月11日 (火) 第5回 常任委員会
9月 1日 (金) 給食試食会打ち合わせ
9月12日 (火) 第6回 常任委員会



◇はくせん係

9月11日 (月) PTA紹介号検討開始
9月27日 (水) アンケート項目決定

◇推薦委員会

9月11日 (月) 役員公募マチコミ配信
9月15日 (金) 役員公募リマインドマチコミ配信
9月29日 (金) 第5回常任委員会

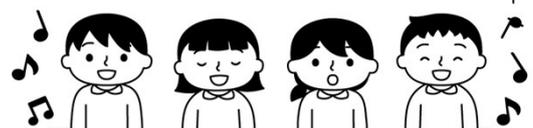
◇アートフェス実行委員会

7月19日 (水) 第3回アートフェスティバル実行委員会
8月30日 (水) 第4回アートフェスティバル実行委員会
9月27日 (水) 第5回アートフェスティバル実行委員会
9月30日 (土) アートフェスティバル第33回ステージ発表の運営

◇会計監査

9月29日 (金) 学年費監査

三行詩コンクールへのご応募
ありがとうございました!





日中は暑い日が続いていますが、朝晩は少し涼しくなりましたね。いつの間にかセミの声が聞こえなくなり、秋の虫の声が聞こえるようになりました。皆さんいかがお過ごしですか。いつもPTCA活動にご協力いただきありがとうございます。

マチコミ配信にありました通り、次年度の役員公募がはじまりました。公募に関するアンケートが配信されていましたが、皆さんご回答いただけましたか。公募の追加回答はPTAメールまでお願いします。回答期限は過ぎましたが、回答受け付けております。

今回の役員会コラムでは、私がPTA会長をやっていてよかったと思うことをお伝えしようと思います。

私がPTA会長をやっていてうれしいのは、たくさんの人に声をかけてもらえることです。先日も私の顔を見て「えーっと、僕（あなたのことを）知っているよ。校外さんだっけ？」と声をかけてくれる1年生がいました。私が「PTA会長の植松です！」と答えると、「そうだそうだ！会長さんだ！」とかわいらしいリアクションがもらえました。私はこれだけで朝から気分上々です。大人の皆さんからは「会長さん大変でしょう？お疲れ様です。」とお声がけいただくことが多く、会長になっていなければこんな風に挨拶を交わすこともなかっただろうと考えると、やらせて頂けて本当によかったと思っています。

そして、子どもたちの成長を間近で感じられるのもうれしいことのひとつです。PTA会長をやっていて、学校へ行くことも多くなり、近隣の学校行事への参加も増えます。先生方から子どもたちの様子を聞く機会もぐっと増えました。こんな風に子どもたちの成長を間近で感じられるのもPTCA活動に参加している特権だと感じています。

また先生方、保護者、地域の皆さんと世代を超えて協働できるのもとても貴重な経験だと思っています。もちろん何もしないよりは「大変」かもしれません。ですがPTCA活動に参加することで得られる気づきや学びははるかに多く、私は自分の成長をも日々感じています。この自分自身の成長もPTA会長をやっていてうれしいことのひとつです。

前会長の當間さんも常におっしゃっていましたが、PTCA活動は子どもたちがつないでくれた「ご縁」です。皆さんもこの「ご縁」に寄り添ってみませんか？各種委員会活動にご興味のある方はいつでもご連絡ください。メールでもよいですし、役員会、実行委員会への参加はいつでも可能です。どうぞよろしくお願いします。

<役員会のお知らせ>

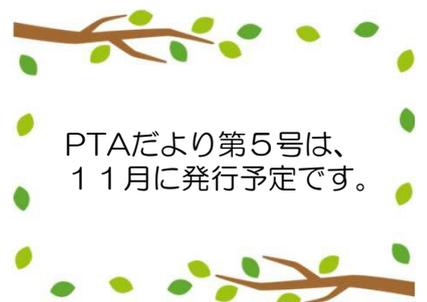
日程：11月8日（水）

時間：役員会 9時10分～
実行委員会 10時40分～

場所：2階会議室



見学、お待ちしております。（予約不要）



PTAだより第5号は、
11月に発行予定です。